

第 104 回二科展巡回展（京都展）

2019 年 11 月 12 日（火）～17 日（日） 京都市美術館別館

●絵画部 彫刻部

京都市美術館別館での 3 年目を迎え、令和 2 年 4 月本館のオープンとなることから、最後の別館開催となりました。

絵画部では、全国回りの理事、評議員までの会員と受賞者、京滋の会員、会友、一般の絵画 107 点、彫刻部 12 点に加えてデザイン部 57 点、写真部 97 点の作品が並びました。狭い空間の中に、各部門の作品が展示され別館ながらいい会場効果が生まれたと思います。

デザイン部、写真部は限られたスペースで 3 年間我慢をして頂きましたが、次回は本館で少し広くなった場所で素晴らしい展示を期待しています。例年のようにギャラリートーク、ギャラリーコンサート（オカリナ演奏）も盛会うちに行う事が出来ました。関係各位に感謝申し上げます。絵画部の京滋関係受賞者は、会員賞に山中惇孝、会友賞に福島菜菜、特選に小南治次、京都新聞賞に加治木成美、各氏が受賞されました。

105 回展は本館の開催となります。皆さんの力作を期待しております。

●デザイン部

デザイン部は全国巡回作品（会員、会友、一般）51 点と京・滋関係の 6 点と合わせて 57 点の展示。

今年も会場が狭くなった中で、自由テーマ・ポスターや特別課題「絶滅危惧種の捕獲・採集圧に関する普及及び啓発」をテーマとしたポスターを中心にイラストや小型グラフィックとバラエティーに富んだ内容の濃い展示になった。

その中、ポスター部門の小林佳美（滋賀）の作品が京都新聞賞を受賞して華を添えた。

●写真部

本年は元号が新しく令和元年になりめでたい年です。またそのめでたい年に 104 回二科会京都展を開催できた事意義ある 104 回展でした。

写真はカメラを使用して表現します。最近のカメラは性能が良く色々な機能が付いていてこの機能独自の発想で写真表現をされています。

今年はこのめでたい年に京都の鈴木直史が最高の二科賞を受賞されました。その他の受賞者は白木孝尚が会員推挙、石川玲子、塚本芳子が会友推挙、浜田喜一が京都新聞賞となりお陰で、京都展に華を添えて頂き多くの鑑賞者が来て頂きました。

又、12 日に西岡伸太先生 14 日に八木富夫先生が写真トークをさせて頂き両日共多くの来場者で盛況でした。

